

ハイライト:

- 日本ELVリサイクル機構 全国講習会開催
～10月19日の帯広、北見、釧路合同講習会を皮切りに～
- 10月20日、第3回使用済自動車判別ガイドラインワーキング開催

ハイライト	1
エアバッグ類の適正処理徹底を	1
全国地域講習会開催予定	1
各地より	2
何だ、こりゃ?	2
最新市況情報	3
編集後記	3

エアバッグ類適正処理の徹底を!

使用済自動車の解体時に実施されるエアバッグ類の処理が、一部で適正に行われていないことが提起されていることは、既に本誌前号ならびに特別号などでお知らせしました。使用済自動車の解体に際して、エアバッグ類の適正処理は解体業に課せられた重要な法的義務行為であり、不適正な処理が発覚すると、車上作動処理契約の一時停止や契約取り消しの措置、あるいは、自治体による営業停止処分などの行政処分が適用されたケースもあり、自再協によ

ると、本年4月以降、注意指導も含めると措置件数は100件を上回っています。会員各位は、エアバッグ類の適正処理徹底と不適正処理の撲滅に向け、社内での周知活動、現場作業員の再教育を実施いただくなど特別のご配慮をお願いします。

なお、エアバッグ類の適正処理に関する情報は、自再協ホームページに掲載されていますので、以下をご参照ください。■

<http://www.jarp.org/manuals/airbag/index.html>

エアバッグ類不適正処理事例と問題点

- ◆エアバッグ類未処理のまま解体車を破砕業者に引き渡していませんか?
⇒実車のエアバッグ類装着状況と移動報告上のエアバッグ類装着状況の突き合わせを励行しましょう。
⇒車両の引き取り報告完了前に車上作動処理してしまうと車台詳細情報での確認をしていないため、思わぬ処理漏れが発生します。
- ◆輸出用ハーフカット生産に際して、エアバッグ類が未作動のままになっていませんか?
⇒ハーフカットは解体行為であり、商品価値が低下しますがエアバッグ類の処理は必須事項です。
⇒バイヤー等に部品輸出業務を任せきりにしないよう、自分でしっかり管理しましょう。
- ◆取り外したエアバッグ類を再販(ネット販売など)したり、再販目的でエアバッグ類を保管していませんか?
⇒エアバッグ類「なし」の引き取りをして、取り外したエアバッグ類を再販する行為は違法処理です。
- 以上の行為は、それ自体で自動車リサイクル法違反あるいは車上作動契約規約違反に相当しますが、同時に移動報告上虚偽の記載となる場合もあることから、処理費用の違法取得による詐欺行為となり刑事罰が科せられる可能性もあります。
- なお、最近の自再協が行った措置の対象については、以下自再協ホームページをご参照ください。
<http://www.jarp.org/pdfs/information/101014keisai.pdf>

<全国地域講習会開催予定> ～前号のつづき～

- | ①開催県 | ②開催日 | ③開催場所 |
|-------|------------|--------------|
| ①宮城県 | ②11月18日(木) | ③仙台卸商センター |
| ①山形県 | ②11月8日(月) | ③株永田プロダクツ |
| ①新潟県 | ②11月18日(木) | ③燕三条地場産業センター |
| ①岐阜県 | ②11月9日(火) | ③ハーフルスクエアG |
| ①三重県 | ②11月10日(水) | ③三重県勤労者福祉会館 |
| ①愛知県 | ②11月11日(木) | ③レディヤン春日井 |
| ①鹿児島県 | ②11月23日 | ③株オートパーツ伊地知 |

- | | | |
|------|------------|-------------|
| ①福岡県 | ②11月20日(土) | ③北九州ELV協同組合 |
| ①熊本県 | ②11月22日(月) | ③熊本テルサ |
| ①佐賀県 | ②11月21日(日) | ③佐賀県整備振興会 |

<発行者>

一般社団法人日本ELVリサイクル機構 広報チーム
〒105-0004 東京都港区新橋3丁目2番2号 一美ビル5F
tel 03-3519-5181 fax 03-3597-5171
e-mail jaera-office2@clock.ocn.ne.jp
<http://www.elv.or.jp/>

～ 各地より～



(写真左)

10月6日、大阪自動車リサイクル協同組合(寺谷優理事長)は、3R推進キャンペーン活動の一環として、大阪難波高島屋前にて、キャンペーンチラシ2千枚をポケットティッシュともども配布しました。当日の参加者は、協同組合加盟12社の代表12名の他、近畿経済産業局環境・エネルギー課から安宅課長補佐にもご参加いただき、道行く人々に自動車リサイクルへの理解と協力を呼びかけました。

(写真右)

去る10月17日、静岡県伊豆長岡において、静岡県自動車解体業協同組合(宮下昌之理事長)が幹事を務める日本ELVリサイクル機構関東3ブロックの合同会議が開催されました。当日は、39名の参加者より現況の報告や行政への要望等があった後、経産省自動車リサイクル室の畑田課長補佐より、現在進められている「使用済自動車判別ガイドラインの目指すもの」との演題で講演がありました。また、今回会議には、オブザーバーとして神奈川県解体業者3名が参加され、N自動車が進める「廃自動車再資源化事業」の進捗状況、県下業者の対応状況等につきお話を伺うことができました。

関東三ブロック合同会議は、かつての首都圏流通協議会の流れをくむ歴史のある会議であるとともに、関東全ブロック



にとり年一回の親睦の場であることから、今後も大切にしていまいりたいと考えております。来年は、栃木県が幹事役を引き受けて開催されますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

埼玉自動車解体事業協同組合 理事長 榎本 擴

何だ、こりゃ・・・？



路肩に停車する長～いトレーラー一台。何を運んでいるのかは見当がつかないが、目的地まで曲がらずに行き着くことができるのか心配。

「何だ、こりゃ？」と思わず叫びたくなるような写真を投稿して下さい。

国内需要が低迷していることや為替相場の影響で輸出価格が値下がりしていることから、国内の鉄スクラップ相場は続落している。このため指標品種のH2の電炉購入価格は約2カ月ぶりに3万円を割り込んだ。

鉄筋やH形鋼など建設用鋼材が主力の普通鋼電炉は、需要低迷が長期化し、鋼材相場が値下がりしていることから、需要期の秋を迎えても生産が伸び悩んでいる。また、今年上期は鋼材輸出が好調だった高炉メーカーも、為替円高の影響を受けて輸出が伸び悩み、減産に踏み切った。自動車や産業機械向けの鋼材を生産する特殊鋼メーカーの生産は好調なものの、全体的に鉄鋼生産は低迷し、鉄スクラップ需要は盛り上がりえない状況だ。

特にこれまで相場を下支えしてきた高炉メーカーの市中スクラップ手当てが大幅に減少し、上級スクラップに荷入り感が増している。

輸出市場 韓国の製鋼メーカーの日本スクラップ輸入手当てが続いているものの、値下がり基調が続いている。中国や台湾などが為替円高の影響もあり、いったん市場から後退したため、韓国ミルの一人舞台となっているのが現状だ。世界的にも景気低迷が長引き、需要が後退しているため、欧米スクラップ価格も下落している。東アジア向けの米国スクラップの直近の輸出成約価格は、No.1ヘビー(HMS1)で1Lトあたり389ドルどころ。日本H2の輸出価格は1トあたり2万8200円、新断が3万3500円どころとなっている。

内外とも値下がり基調が続き、高炉が市場から後退したことなどから考えると大幅下落も予想されるが、世界的に鉄スクラップ発生が低迷しており、発生簿が市況の大幅下落にブレーキをかけている状況。当面、鉄スクラップ相場は、先安ながら緩やかな下落基調が続く見通しだ。

関東地区電炉メーカーの入荷好調 在庫潤沢で下げ含

み関東電炉各社の入荷は引き続き好調。市中業者筋は、目先下げ環境が続く見通しが強まっていることから、手持ち在庫の出荷を急いでいる。このため電炉各社は、週明け時点で在庫を減らしているものの、生産水準から見て在庫は潤沢となっており、鉄スクラップ購入価格の値下げ環境が整っている。関東地区のH2炉前実勢価格は現在、1トあたり2万7000～8000円中心、高値2万9000～9500円見当。鋼材市況も下落基調にあるため、市場では「関東相場は2万5000円どころまで下げる」(業者筋)との見方が大勢だ。

東海地区 電炉各社、10月中旬までに3回の値下げ
東海地区の電炉各社は、14日までに合計3回の値下げを実施し、H2炉前実勢価格は2万7500～8000円中心まで値下がりした。為替円高の影響で鉄スクラップ輸出難の状況にあることや高炉メーカーが市中スクラップの購入量を大幅に減少したことから、新断やHSなど上級スクラップの需給緩和が目立つ格好となっている。

こうした動きに東京製鉄は即反応し、鉄スクラップ購入価格の値下げを実施。他の電炉メーカーも同調値下げを実施した。市況先安観から市中業者は出荷を急いでいるため、東海地区の相場は、さらに下振れすると見られている。

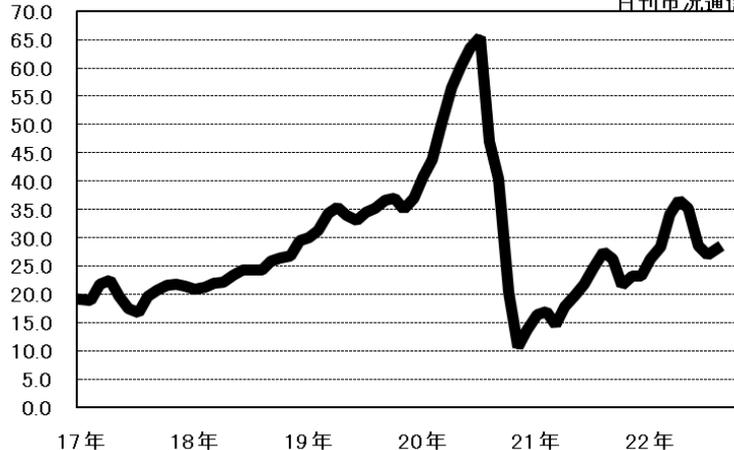
関西地区 関西相場は軟地合い
関西地区は電炉メーカーが購入価格をポツリポツリと引き下げてきており、依然軟地合いとなっている。

大阪電炉は16日、一部電炉が購入価格を500円がた引き下げ、H2炉前実勢価格は2万8500～9500円まで値下がりした。姫路電炉は、14～15日にかけて一部を除き500～1,000円値下げした。

電炉製品市況が冴えないことや、円高ドル安の進行などから、目先の相場も軟調との見方が一般的だ。■

(※各地の価格動向は10月19日時点のもの)

単位:1,000円/M² 鉄スクラップ市況(5地区代納平均価格)の推移 日刊市況通信社



10月第3週(12～16日)の国内スクラップ市中実勢価格

		H2		気配
関東	北関東	23,700	～ 23,200	値下がり
	南関東	23,700	～ 23,200	値下がり
名古屋		25,500	～ 25,000	値下がり
関西	大阪	28,000	～ 27,000	続落
	姫路	27,000	～ 26,500	続落

<編集後記>

◇10月19日、帯広・北見・釧路合同開催の講習会が、全国講習会のトップを切って開催された。現在計画されている講習会は35か所に上っており、今後さらに増えるものと期待される。

◇エアバッグの不適正処理が問題になっており、適正な処理の普及を目的に開催される全国講習会の重要性は益々高くなります。講師を務める各地のjaeraインストラク

ターの皆さまのご健闘を祈ります。

◇各地から、スクラップインセンティブ終了後のELV流通に関する懸念の声が聞こえてきます。折しも、使用済自動車判別ガイドラインワーキングが開催され、我々の代表は引き取り業者がオークションへの丸投げを止め、所有者への情報提供と使用済自動車の判断に積極的に関与するよう強く求めているが、「全ては市場が判断する」でかたづけられそうな雲行きで心配が募ります。■